

巨摩高生の秋2010

体育局文化局主大活躍!!



陸上部
山梨県高校新人大会:男女優勝
バレーボール部 女子
春高バレー山梨県予選:3位
弓道部
山梨県高校新人大会
女子団体:優勝
女子個人:優勝 西中山温音(2年)
男子個人:2位 内藤 良太(2年)

第31回山梨県高等学校芸術文化祭が開催され、巨摩高校からは10部門に参加しました。

吹奏楽部:優秀賞
箏曲部:優秀賞
放送(アナウンス部門) 河西江里奈(2年):優秀賞
来年度の全国総文祭に出場!!
文学(俳句) 馬場聖海(1年):優秀賞
「夕立にうたれ消えゆく蟬のこえ」
●芸術文化祭以外での受賞もありました。
土屋杏樹(3年)
第15回全日本高校・大学生書道展(読書新聞社主催)漢字の部:
全日本高校大学生書道展賞
鈴木涼子(2年)
第45回高野山競書大会(高野山書道協会主催):高野山総長賞

或成 勇中堅 英才金聲 金徳玉潤 妙哉
朗於 韶年 真芳 茂於 箭野 徳貫 類 関 文
通 游 夏 掃 櫻 朝 臣 則 冬 夏 感 思
土屋杏樹 受賞作品

9月 生徒総会・第3回定期試験・安全運転講習会
10月 生徒会役員引継式・芸術鑑賞会
特別支援学校スポーツ大会ボランティア
高体連新人大会・読書月間
11月 高等学校芸術文化祭・第4回定期試験(1・2年)

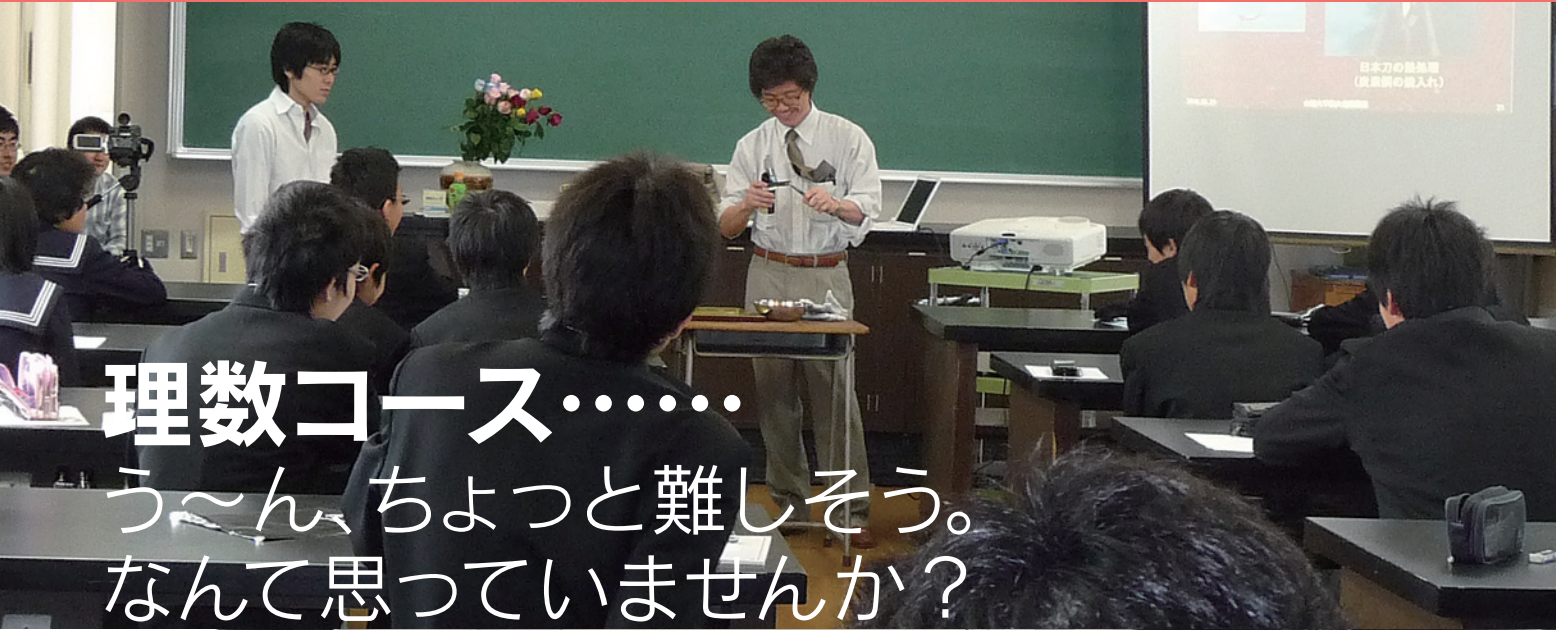


安全運転講習会



特別支援学校スポーツ大会ボランティア

「巨摩高だより Volume.32」には、こんな内容を掲載しました。
P02◎「よみがえれ、科学技術立国日本」校長 山中泉/[巨摩高にゆーす]芸術鑑賞会 P03◎【特集】熱く、真剣に、ていねいに。「読めばわかる、これが巨摩高校の理数コース!!」 P04◎[巨摩高にゆーす]体育局も文化局も大活躍!!/[巨摩高だより]/[連載 がんばるセンセイ]佐々木智謙先生(生物担当 3学年副担任 弓道部顧問)



理数コース……
うーん、ちょっと難しそう。
なんて思っていないですか?

たしかに理数コースの生徒の多くは大学進学希望者です。そのための学習環境もばっちり。進路を明確に決めている生徒も、まだ決められない生徒も、各々のペースで目標に向かってがんばっています。

しかーし!!

これは 巨摩高校 理数コースのほんの一面。なんととってもティーンエイジャーまっさかりですから…… トークに花を咲かせる女子、部活動に打ち込む男子 etc.etc ごくごくフツの高校生の姿がここにはあるのです。



今回のがんばる先生は、大学院を卒業してこの4月に赴任した佐々木智謙先生です。とても理知的にも「こ」を捉えている一方で、生徒に対する温かなまなざしが印象的でした。

――教員を志した理由は何ですか?
中二で父を亡くし、母は幼少時より入院をくり返していました。そのため、物心ついた時期から、母の病気を治したいと思い、医学の道を志していました。医者は、心や身体に病を抱えた人の「命を救う」という大切で尊ぶべき存在です。その一方、教員には「これから生きる子どもへの「命を育む」という重要な使命があると思います。自分の適性や将来を見据えた時、子どもに寄り添う道を歩みたいと思い、教職を志望しました。――幼稚園教諭から高校教諭までの免許をお持ちですが……
以前から、就学前教育が人格形成の上で非常に重要なことと感じていました。乳幼児期に大切なことのつばは、人に対する信頼感を築くことです。そのため

が・ん・ば・る 20 先生

少し見方や考え方を
変えてみると…

佐々木智謙 先生
生物担当 3学年副担任 弓道部顧問



――巨摩高生にメッセージを。
現実はいやが上にもありますが、世の中は不平等な部分もありますが、そんなに捨てたものじゃない。各人が、置かれた状況の中で、精一杯努力し、葛藤を繰り返しながら歩いていけばいいのだと思います。目がいいこと、字がうまいこと、勉強ができること、スポーツが得意なこと、それらは同程度に素晴らしいことで、同時にただそれだけのことで、他人と比較するのはではなく、自分や周りを受け入れて、その上に立って未来を作ってほしいと思います。諦めたり、嘆くのではなく、少し見方や考え方を考えてみると、世の中には自由で素朴な世界が広がっています。素直で素朴な巨摩高生、そして所属する弓道部の実直で礼儀正しい生徒達に出会えて、本当に嬉しかったです。

――どうもありがとうございます。
巨摩高生にメッセージを。
高校生は、まだ経験は少ないですが大人です。可能性は無限に広がる一方で、自分の人生を考え、様々な選択肢の中から道を決め、その決断の責任を自身でとらなければなりません。一人ひとりが持つ可能性に語りかけ、何かの「きっかけ」を与えられる教員でありたいと思います。

編集後記 Editor's Room

▼記録的な猛暑だった今年の夏。長かった夏がようやく終わり、やっと過ぎやすい季節になったかと思うと、10月だというのに冬を思わせる寒さの日もありました。それでも、青空が広がり日差しのある日には秋らしさが感じられ、すがすがしい気持ちになります。▼さて、今号では理数コースを特集しました。理数コースでは、理数科目を中心に学習面に力を入れています。部活動で活躍している生徒や生徒会役員として活躍している生徒も多いです。また、理数コースならではの行事も行われています。この特集を通して、理数コースの様子を少しでもお伝えできたらと思います。▼例年に比べ短い秋ですが、今、巨摩高生一人ひとりは、それぞれの秋を楽しみ、あるいは進路実現に向けて頑張っています。

巨摩高だより KOMA! 32

発行◎山梨県立巨摩高等学校
〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2
TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
発行日◎平成22年11月18日
編集◎山梨県立巨摩高等学校 図書教養係
巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!
巨摩高校 検索
URL: http://www.ko.kai.ed.jp/
Mail: info@ko.kai.ed.jp